

# 決算発表説明資料

2017年3月期

- 連結決算(経営成績)
  - 工作機械関連事業
    - 受注動向
  - 輸送機器関連事業
  - 財政状態

2016.8.9

エンシュウ株式会社



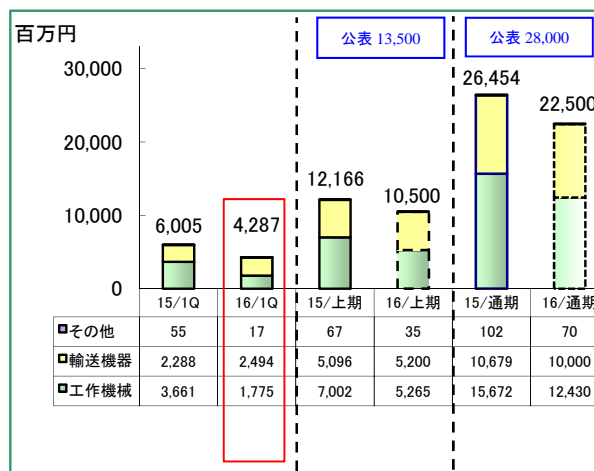
# 連結決算(経営成績)

中国自動車メーカー向け大型システム案件依存体質からの脱却を図るべく、中国のみならず、国内自動車メーカー、欧米自動車関連企業等幅広く営業展開をしております。引合案件は増加、受注も着実に積み上がってきているが、今期予定案件のズレ込みを含め、来期に案件が集中、今期は大口案件がない部分の売上をカバーしきれず、工作機械事業部門で減収見込みとなっております。

輸送機器事業部門におきましては、本社、ベトナム現地法人ともに順調に推移、増益見通したが、工作機械事業部門の減収に伴う減益をカバーしきれず、上期、通期ともに赤字予想となりました。

## 【対前年比較(2015~2016)】

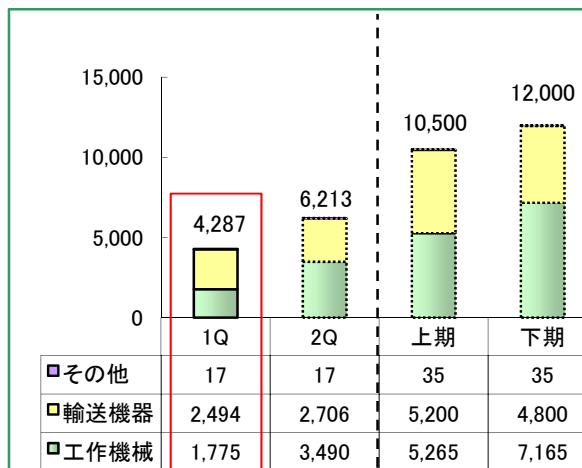
### 売上高



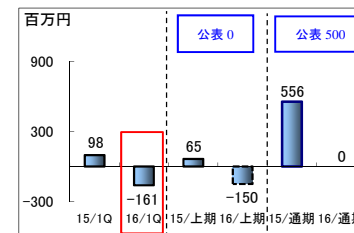
※16/上期,16/通期は予測

## 【半期比較】

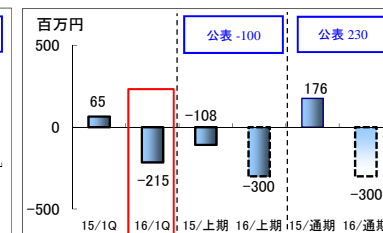
### 売上高



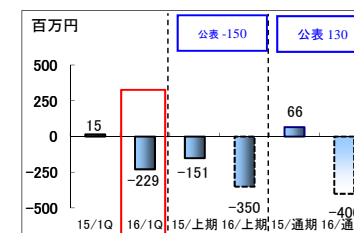
### 営業利益



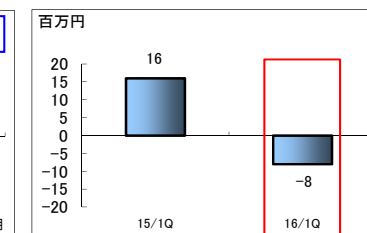
### 経常利益



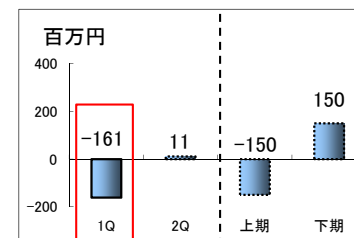
### 当期純利益



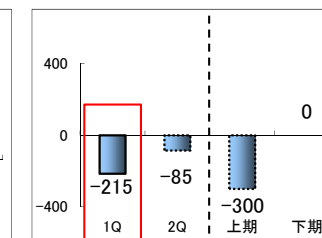
### 為替損益



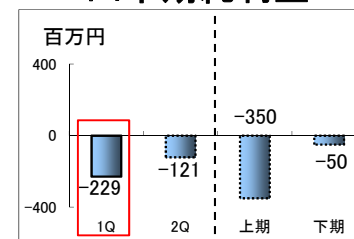
### 営業利益



### 経常利益



### 四半期純利益



# 工作機械関連事業部門(経営成績)

## ● 2016年度第1四半期 業績概要

売上高につきましては、中国を中心としたアジアおよび欧州向けが大きく減少、国内の売上は増加したものの、1,775百万円（前年同期比51.5%減）となりました。

営業利益につきましては、コストダウン施策およびプロジェクト管理の徹底による効果は継続しているものの、売上高減少の影響が大きく、209百万円の損失（前年同期は199百万円の利益）となりました。

## ● 2016年度上期 業績予想

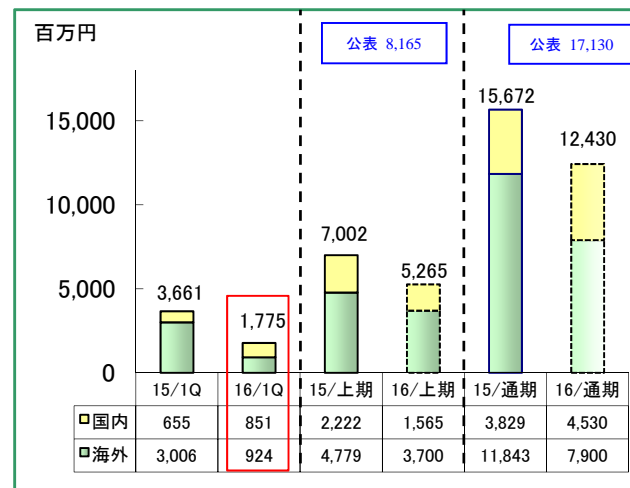
第2四半期は営業利益段階で黒字となる見込みですが、第1四半期の売上減の影響が大きく、売上高5,265百万円（前年同期比24.8%減）、営業利益190百万円の損失（前年同期は205百万円の利益）を予想しております。

## ● 2016年度通期 業績予想

下期は売上の回復により損益は改善するものの、大型のシステム案件は来年度に集中するものと見込まれ、通期売上高12,430百万円（前期比20.7%減）、営業利益220百万円の損失（前期は345百万円の利益）を予想しております。

## 【対前年比較(2015~2016)】

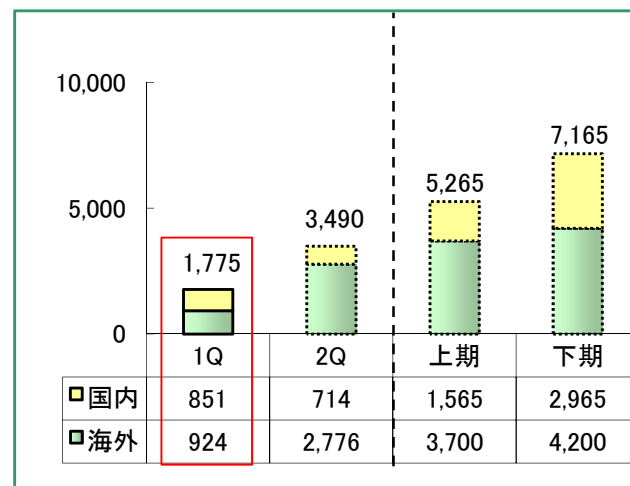
### 売上高



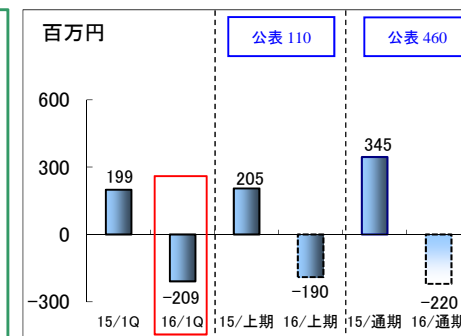
※16/上期,16/通期は予測

## 【半期比較】

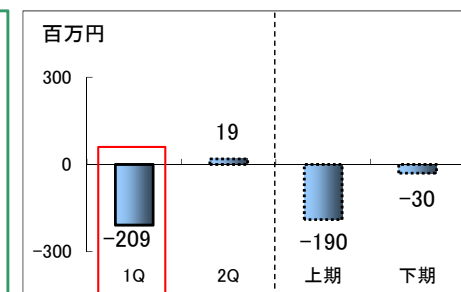
### 売上高



### 営業利益



### 営業利益



# 工作機械関連事業部門受注動向

## ●受注高

前年同期は中国向け大型案件の受注があったこともあり、第1四半期は大幅な受注減となりました。

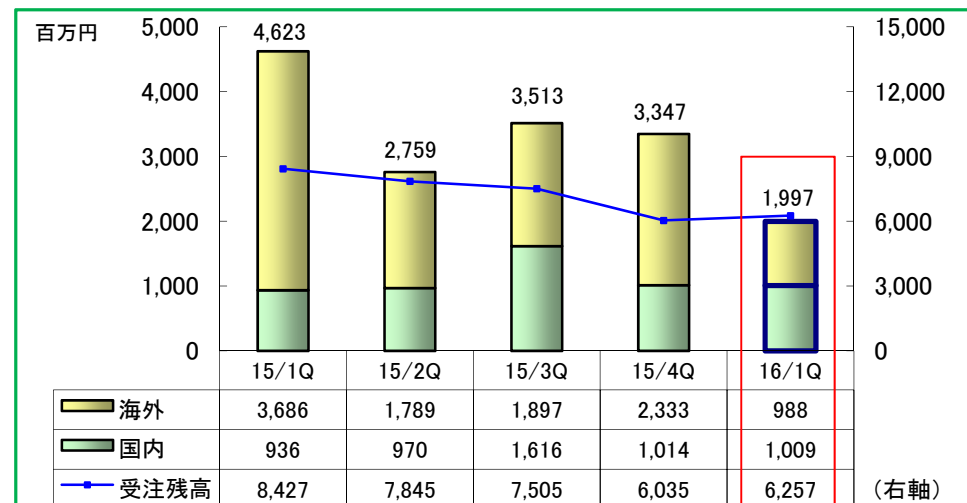
10月1日付で営業技術部を新設しシステム営業の強化を図り、国内および欧米における受注確保に努めてまいります。

## ●受注残高

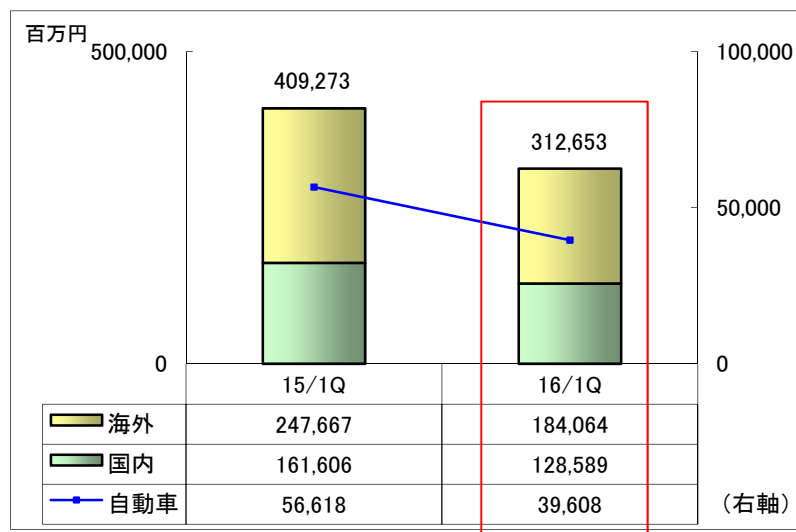
当社が得意とするシステム案件については、来年度以降の案件の引き合いが強くなり、今後受注残高が改善していく見通しです。

## ☆ 当社の受注高及び受注残高推移

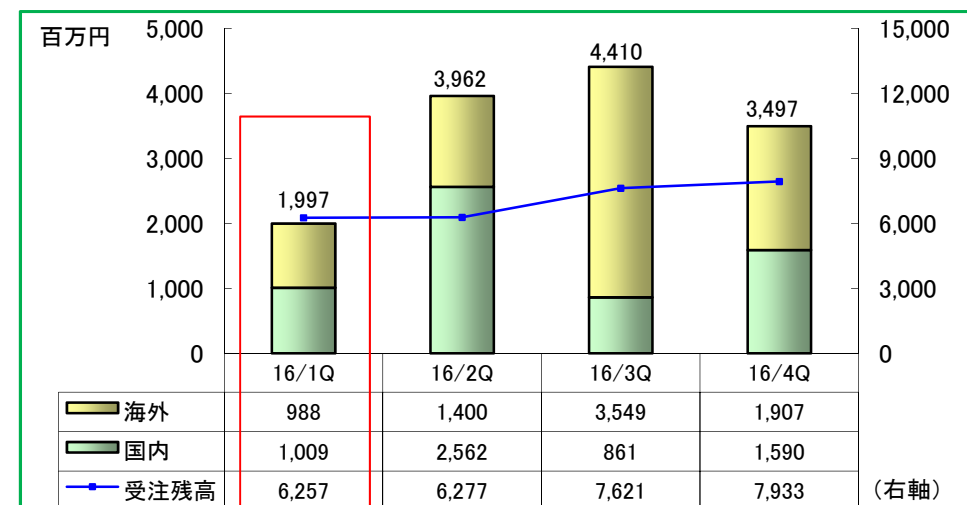
### 【四半期推移】



## ☆ 日本工作機械工業会受注推移



### 【四半期受注計画】



# 輸送機器関連事業部門(経営成績)

【対前年比較(2015~2016)】

公表=前回業績予想(5/13)

## ●2016年度第1四半期 業績概要

売上高につきましては、ベトナム現地法人の売上が着実に拡大、国内も安定した売上を維持しております、売上高は2,494百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

営業利益につきましては、ベトナム現地法人の生産が軌道に乗ったことに加え、国内もコスト管理が徹底されたことにより、営業利益は35百万円（前年同期は151百万円の損失）と、黒字化しました。

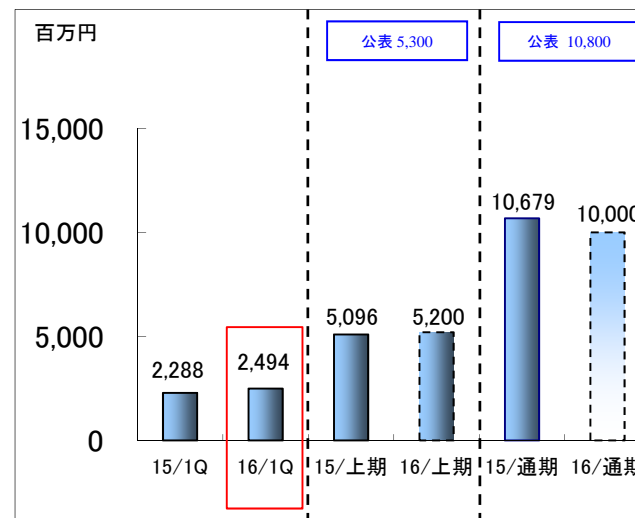
## ●2016年度上期 業績予想

2Qは採算の厳しい案件が増えますが、売上高5,200百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益20百万円（前年同期は196百万円の損失）と黒字を予定しております。

## ●2016年度通期 業績予想

ベトナム現地法人の生産は順調に拡大していく見通しであり、国内も安定した収益を見込めることから、売上高10,000百万円（前期比6.4%減）、営業利益180百万円（前期比40.1%増）を予想しております。

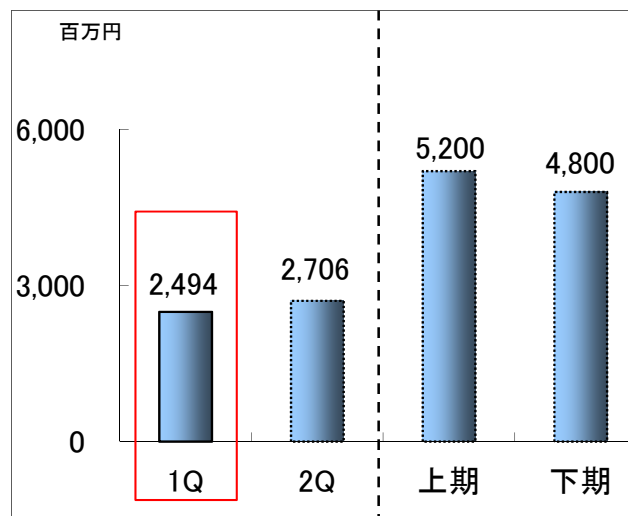
## 売上高



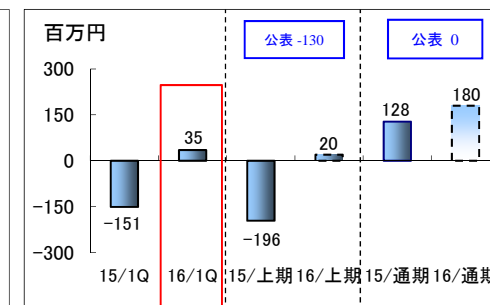
※16/上期,16/通期は予測

## 【半期比較】

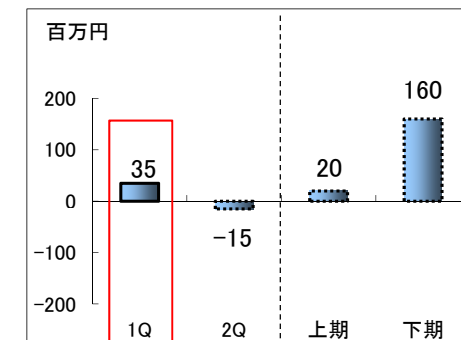
## 売上高



## 営業利益



## 営業利益



# 財政状態

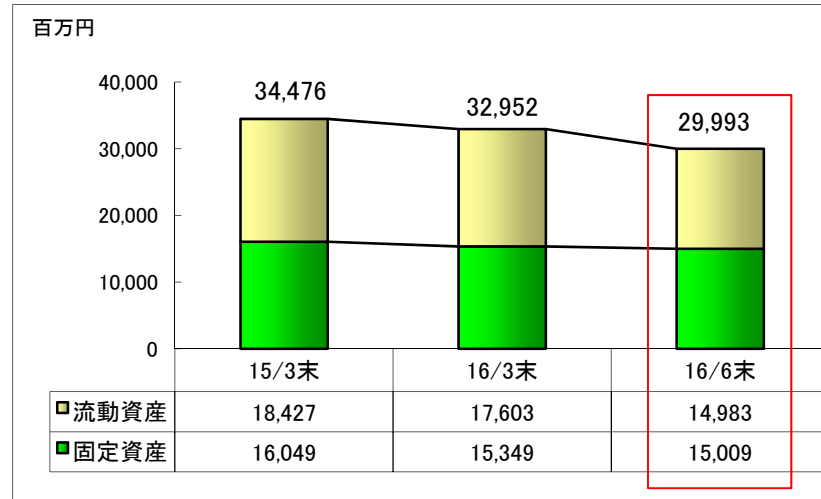
## ●財政状態

運転資金の圧縮により、バランスシート改善を継続しており、借入金、総資産は減少しております。

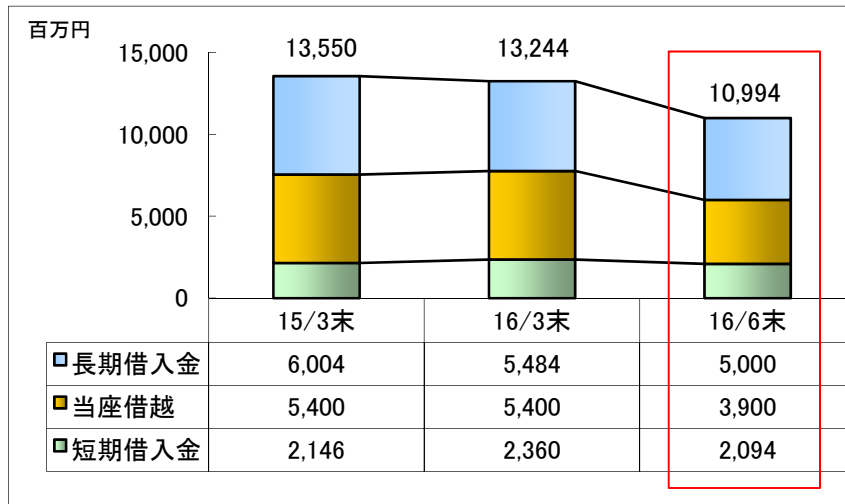
(総資産16/3末比 ▲2,959百万円)

利益剰余金の損失が増加しましたが、総資産圧縮により、自己資本比率は1.3ポイント増加しております。

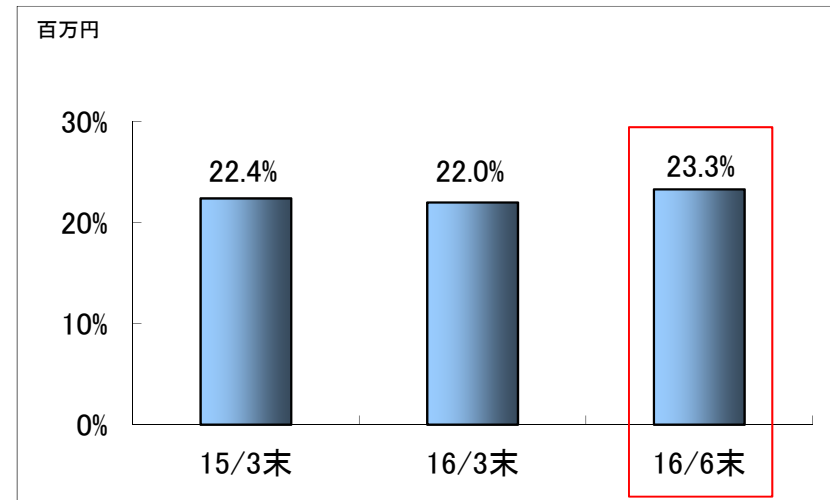
## 総資産



## 借入金



## 自己資本比率



## 注記事項

本説明資料に記載いたしました業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。